

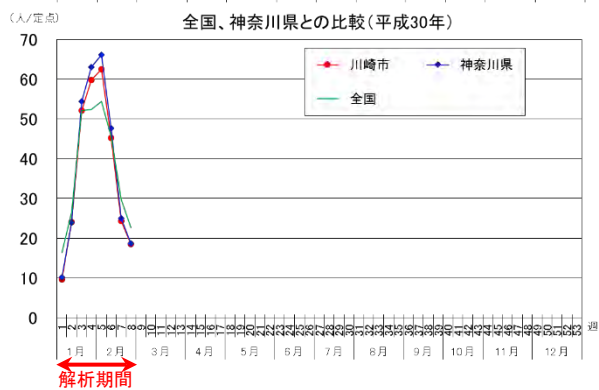
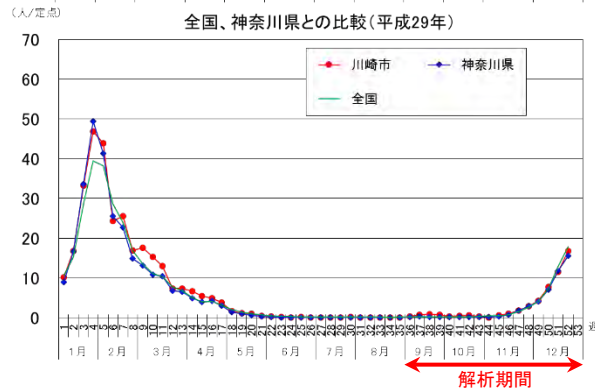
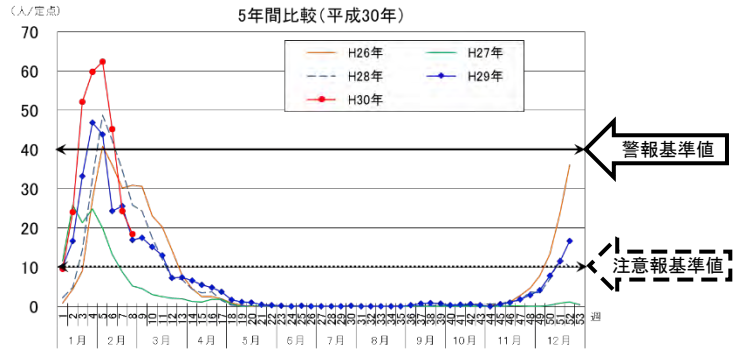
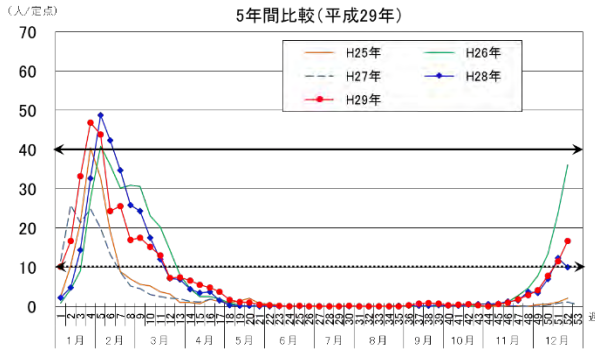
# 定点把握疾患の届出状況(平成 29 年 9 月～平成 30 年 2 月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

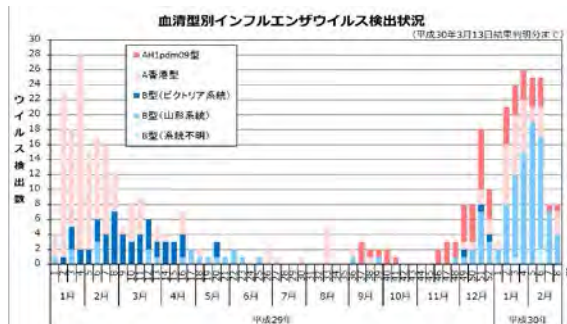
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり 30 人、注意報基準値:定点当たり 10 人)

### 【川崎市】

今期(平成 29 年 9 月～平成 30 年 2 月)は定点当たり 13.90 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.69 倍で、例年より高いレベルで推移しました。2017/2018 シーズンは、平成 29 年第 47 週に流行開始の目安である定点当たり 1.00 人を超え、例年に比べて 1 週間程度早く流行が始まり、平成 29 年第 51 週に流行発生注意報基準値(定点当たり 10.00 人)、平成 30 年第 3 週に流行発生警報基準値(定点当たり 30.00 人)を超え、平成 30 年第 5 週に流行のピーク(定点当たり 62.43 人)となり、現在の調査方法となった平成 11 年以降最多の報告数となりました。

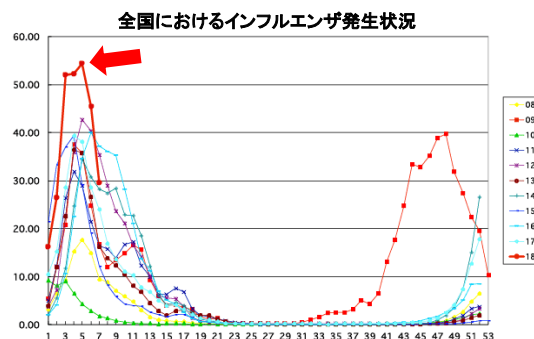


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2017/2018 シーズンは、B 型(山形系統)が 97 件、AH1pdm09 型が 60 件、A 香港型が 41 件、B 型(ビクトリア系統)が 3 件、B 型(系統不明)が 3 件検出されました。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

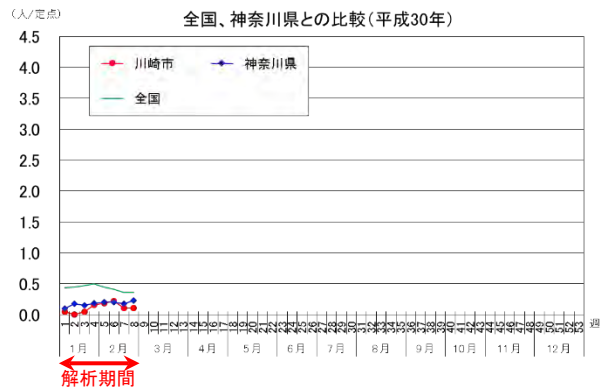
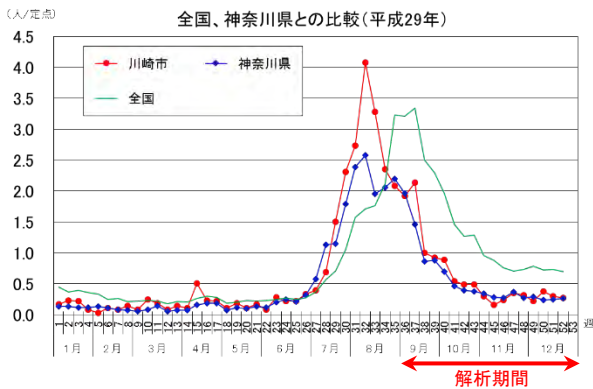
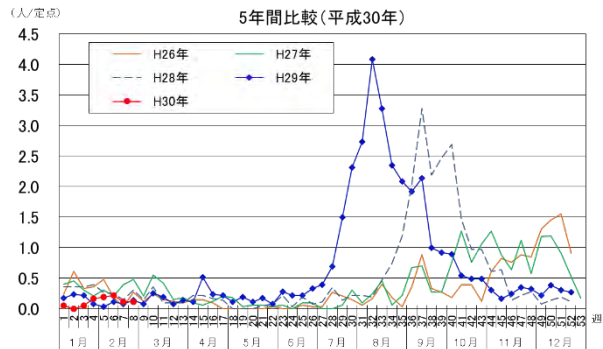
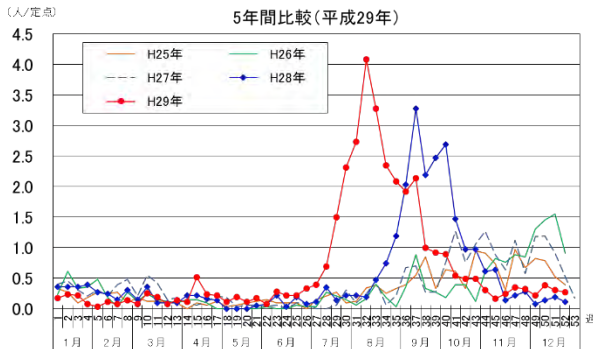


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.47 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.76 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。9 月中旬までは患者報告数が多く、例年より高いレベルで推移しました。

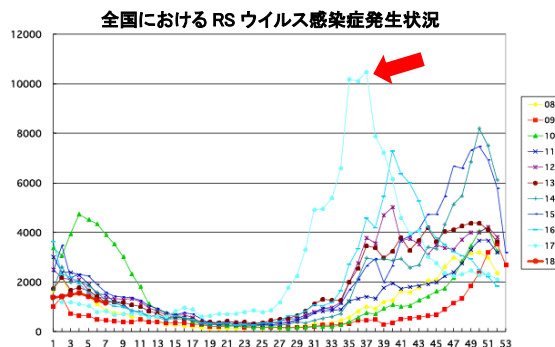


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
高津区	女	1	H29.9.4	RS ウイルス	A 型
中原区	男	3	H29.9.5	RS ウイルス	A 型
麻生区	女	1	H29.9.13	RS ウイルス	A 型
川崎区	男	1	H29.10.18	RS ウイルス	A 型
多摩区	男	1	H29.12.4	RS ウイルス	A 型
中原区	女	1	H30.2.28	RS ウイルス	B 型

### 【全国及びその他】

全国的には 9 月下旬まで例年よりかなり高いレベルで推移し、10 月以降は例年並みのレベルで推移しました。

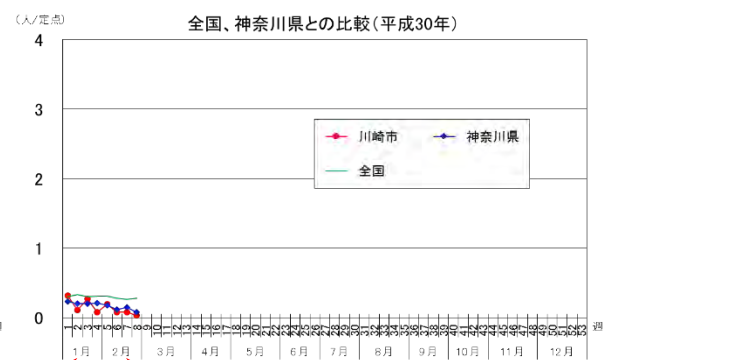
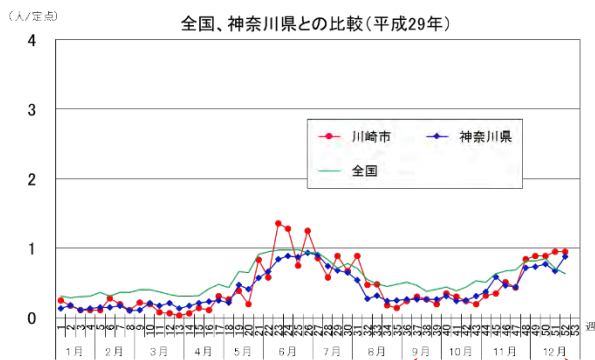
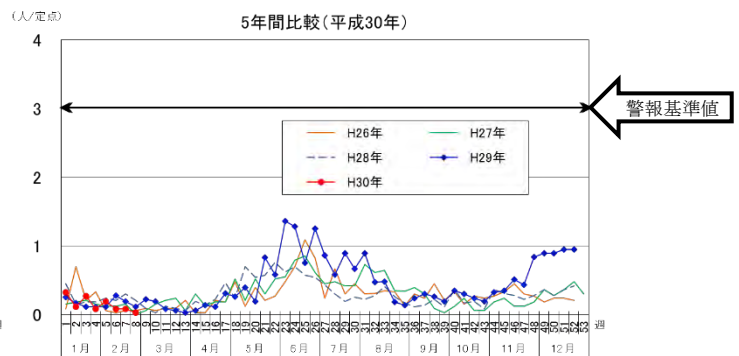
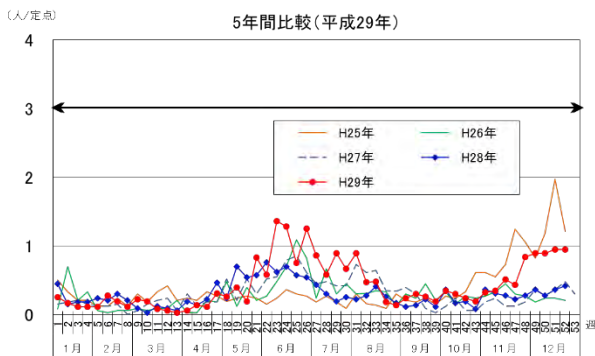


# 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.38 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.13 倍で、例年並みのレベルで推移しました。11 月下旬以降患者報告数が増加し、12 月は例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) を超えた週は、多摩区で第 52 週 (3.20 人) でした。

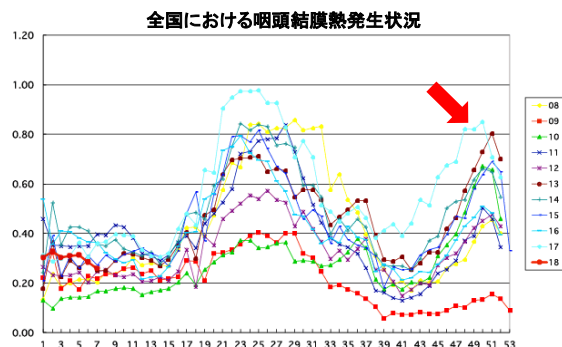


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
幸区	女	5	H29.9.1	アデノウイルス	3 型
幸区	女	3	H29.9.22	アデノウイルス	4 型
幸区	女	1	H29.10.23	陰性	-
幸区	男	4	H29.10.27	陰性	-
中原区	男	3	H29.11.10	アデノウイルス	3 型
幸区	男	2	H29.11.13	アデノウイルス	3 型
多摩区	男	3	H29.11.22	アデノウイルス	3 型
多摩区	女	1	H29.12.8	アデノウイルス	3 型
幸区	女	1	H29.12.11	アデノウイルス	3 型
中原区	女	5 か月	H29.12.20	アデノウイルス	2 型
多摩区	男	7	H29.12.26	アデノウイルス	3 型
中原区	女	1	H30.1.10	アデノウイルス	3 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり高いレベルで推移しました。

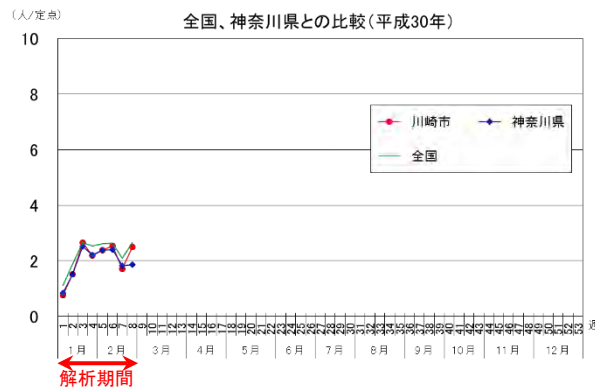
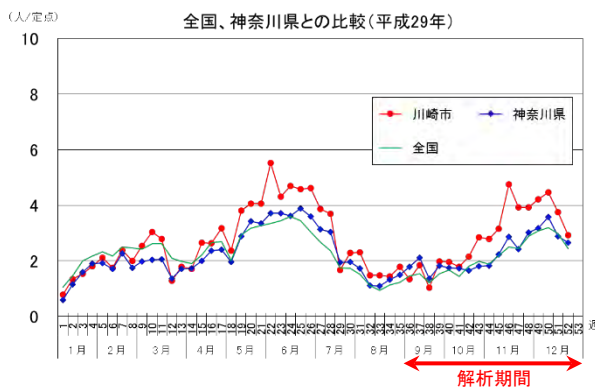
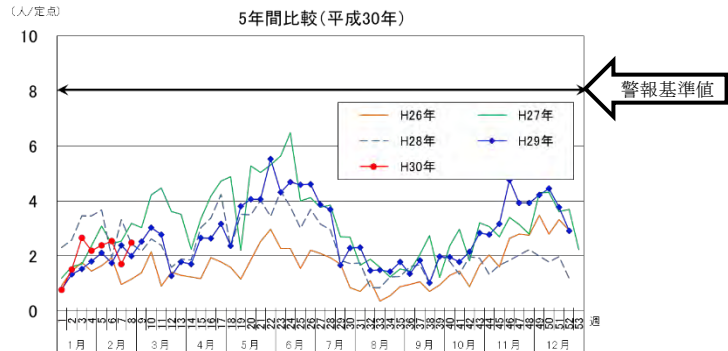
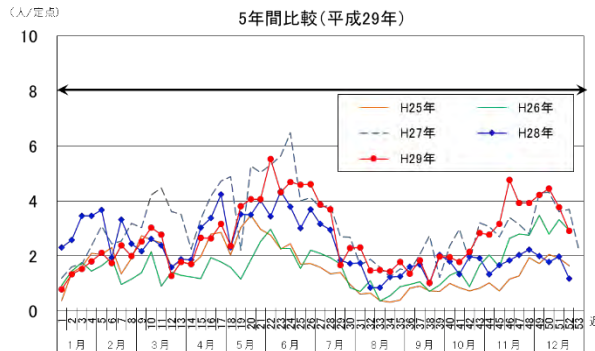


# A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 2.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.36 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。10 月下旬以降患者報告数が増加し、11 月～12 月は例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、川崎区で第 46 週 (8.80 人)、多摩区で第 50 週 (8.20 人) でした。

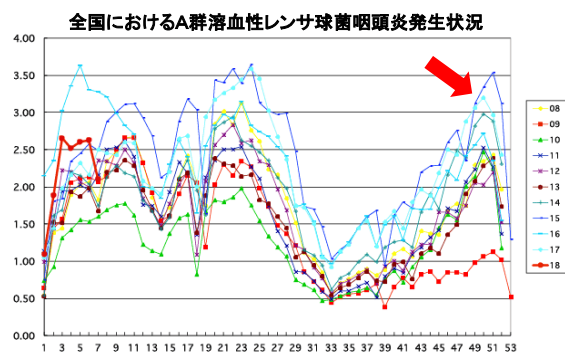


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	T 型別
幸区	女	11	H29.9.11	不検出	-
中原区	女	3	H29.9.13	A群溶血性レンサ球菌	T1
高津区	女	7	H29.10.5	A群溶血性レンサ球菌	T1
幸区	男	11	H29.10.20	A群溶血性レンサ球菌	型別不能
川崎区	男	2	H29.11.2	不検出	-
川崎区	男	12	H29.11.14	A群溶血性レンサ球菌	T28
幸区	男	7	H29.11.17	A群溶血性レンサ球菌	TB3264
中原区	男	2	H29.11.22	A群溶血性レンサ球菌	T4
多摩区	女	10	H29.11.28	A群溶血性レンサ球菌	T12
中原区	女	7	H29.12.12	A群溶血性レンサ球菌	T1
多摩区	女	6	H29.12.22	A群溶血性レンサ球菌	T12
中原区	男	5	H30.1.16	A群溶血性レンサ球菌	T1
中原区	女	1	H30.2.2	A群溶血性レンサ球菌	T4
中原区	女	2	H30.2.8	A群溶血性レンサ球菌	T12

## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

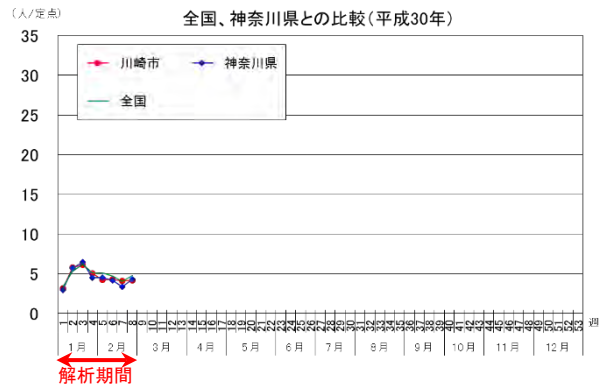
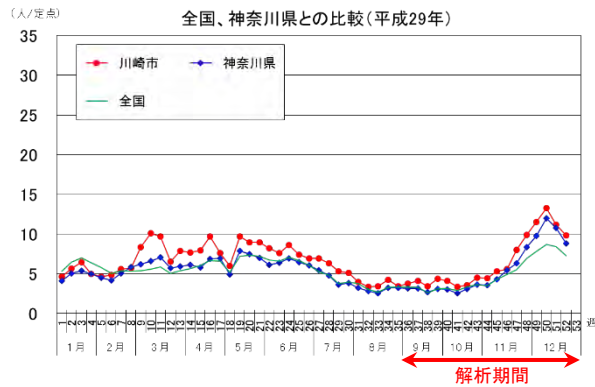
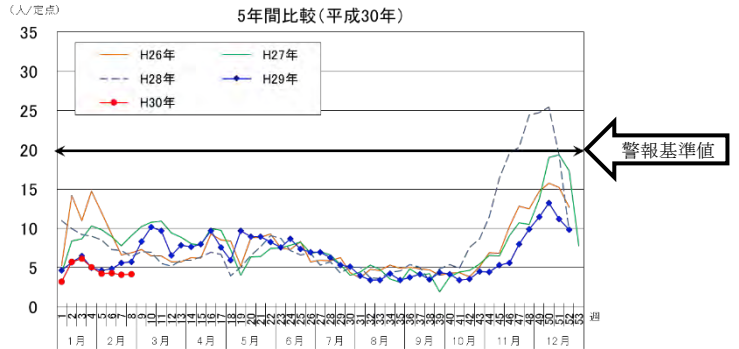
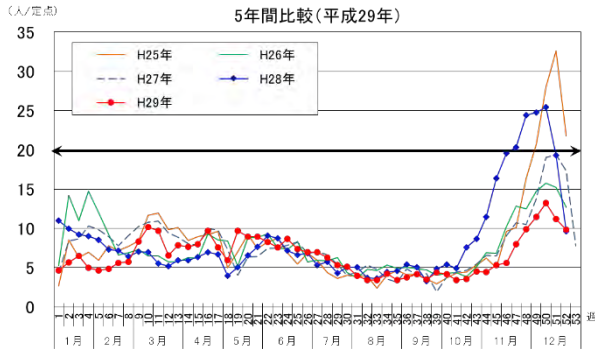


# 感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 5.90 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.62 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) を超えた週は、高津区で第 49 週 (24.17 人)、第 50 週 (25.67 人)、第 51 週 (20.83 人) でした。

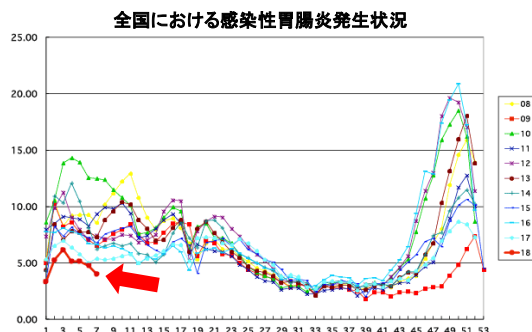


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)
幸区	女	10	H29.9.25	陰性	-	カンピロバクター・ジェジュニ
幸区	男	8 か月	H29.9.29	ノロウイルス パレコウイルス	GII.4 1 型	陰性 陰性
多摩区	男	2	H29.12.5	陰性	-	陰性
幸区	男	1	H29.12.11	ノロウイルス	GII.4	陰性
高津区	男	8 か月	H29.12.21	陰性	-	陰性

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

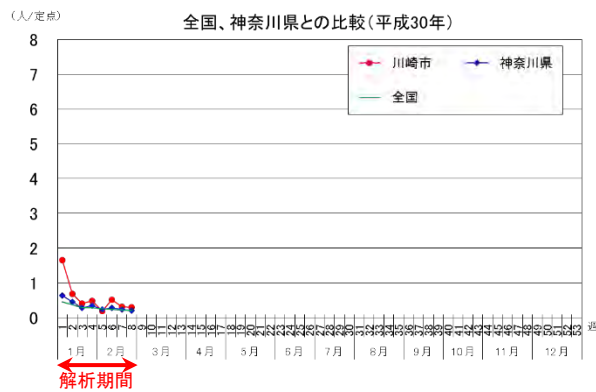
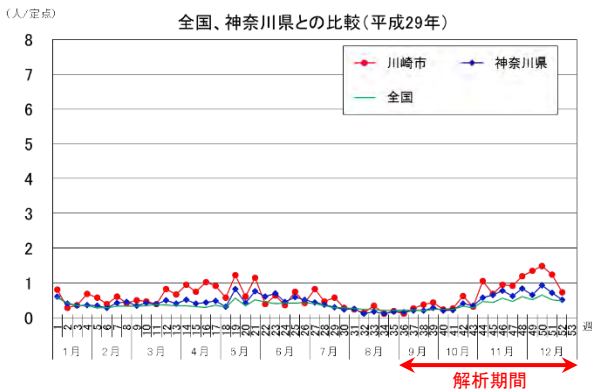
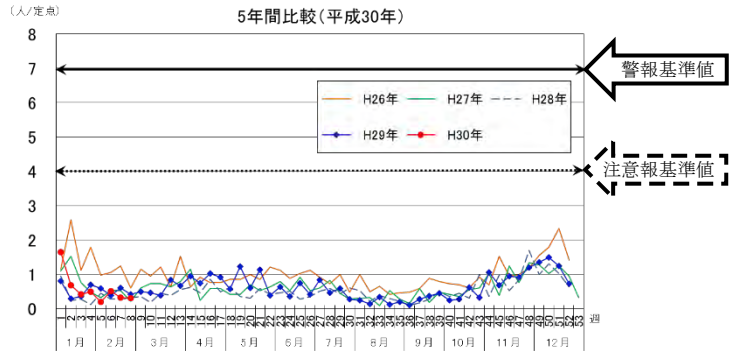
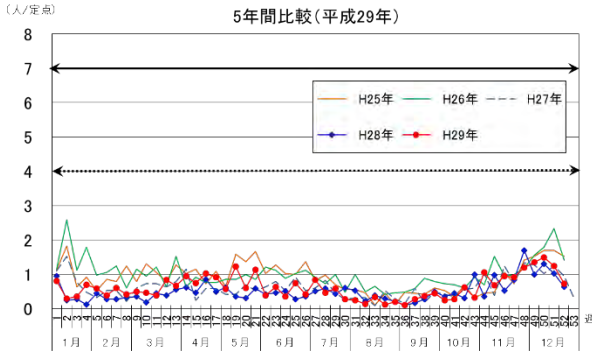


# 水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.67 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.80 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (4) を超えた週は、川崎区で第 44 週 (4.75 人)、第 46 週 (5.00 人)、多摩区で第 1 週 (6.00 人) でした。

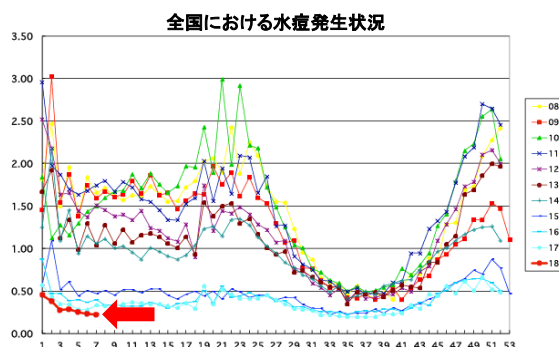


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	男	5	H29.10.17	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	6 型
				ヒトヘルペスウイルス	7 型
多摩区	男	9	H29.10.20	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	7 型
多摩区	男	6	H29.10.30	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	-
多摩区	女	7	H29.11.10	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	7 型
中原区	男	4	H29.12.6	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	6 型
高津区	男	5	H30.1.9	ヒトヘルペスウイルス	7 型
				水痘・带状疱疹ウイルス	-
多摩区	女	2	H30.2.16	水痘・带状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	6 型
				ヒトヘルペスウイルス	6 型
				サイトメガロウイルス	-

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

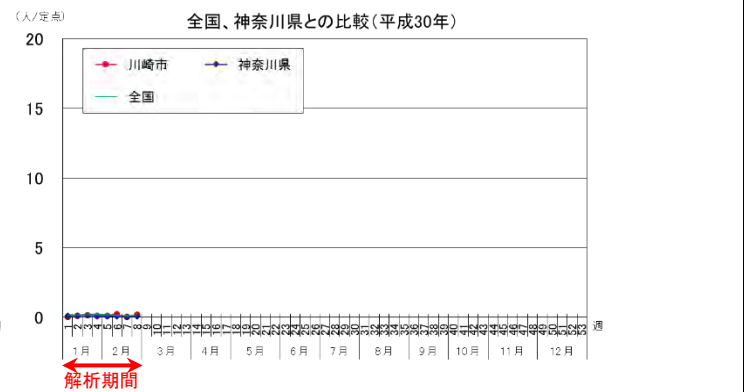
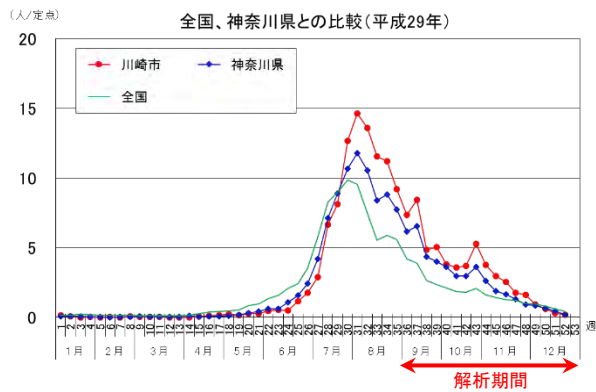
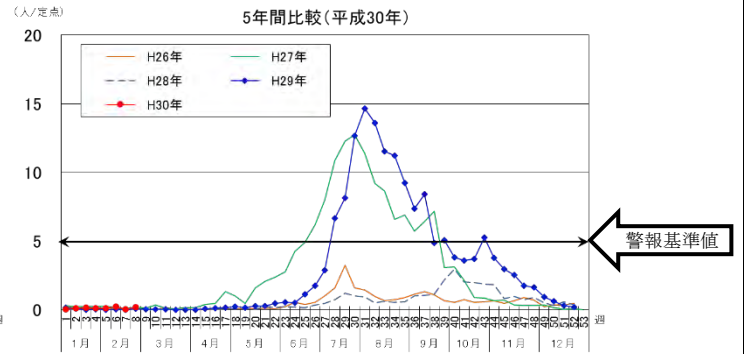
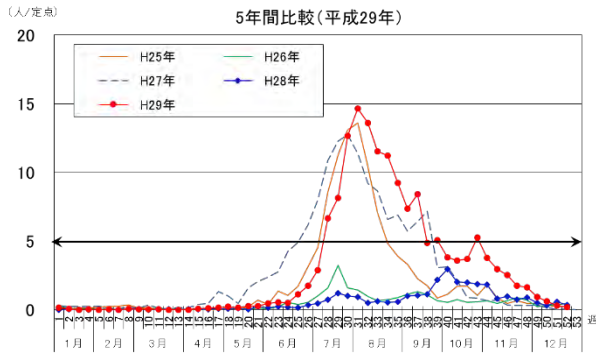


# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 2.30 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.76 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (5) を超えた週は川崎区で第 36 週、第 37 週、第 39 週、第 40 週、幸区で第 36 週、第 37 週、第 43 週、中原区で第 37 週、第 39 週、高津区で第 36 週、第 37 週、第 43 週、宮前区で第 36 週～第 45 週、多摩区で第 36 週、第 37 週、第 39 週、第 46 週、麻生区で第 36 週～第 39 週でした。

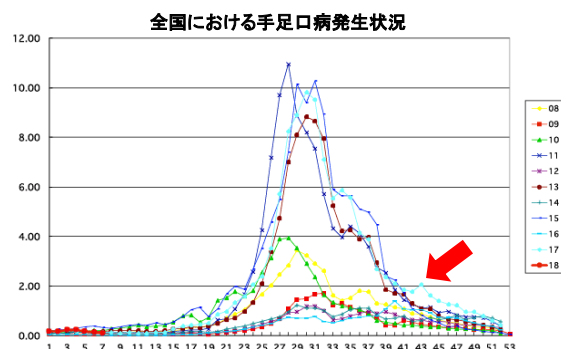


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
多摩区	男	5	H29.9.4	コクサッキーウイルス	A6 型
中原区	男	1	H29.9.5	コクサッキーウイルス	A6 型
中原区	女	7 か月	H29.10.10	コクサッキーウイルス	A6 型
多摩区	男	4	H29.10.17	エンテロウイルス	71 型
中原区	女	1	H29.11.21	エンテロウイルス	71 型
川崎区	男	5	H29.11.29	エンテロウイルス	71 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

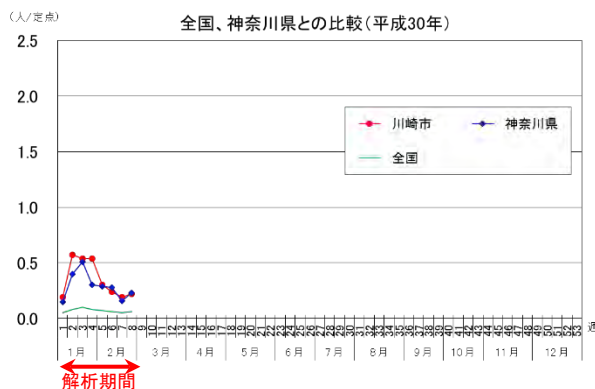
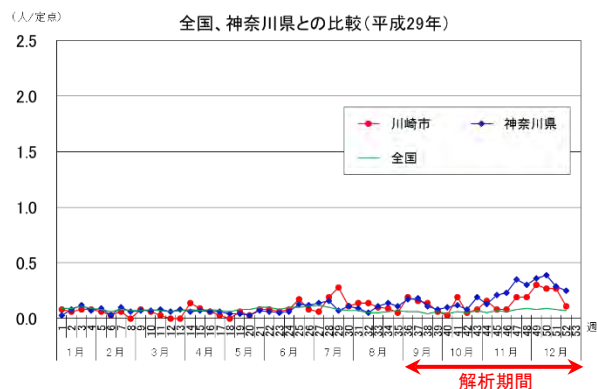
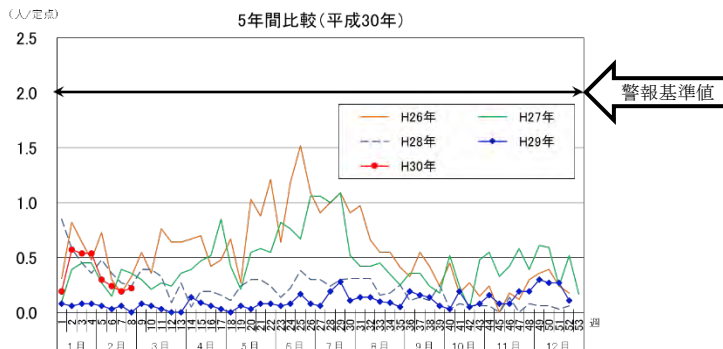
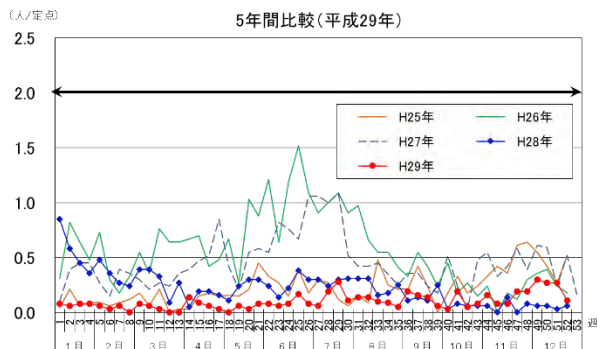


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.21 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.85 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (2) を超えた週は、宮前区で第 2 週 (2.33 人)、第 3 週 (2.17 人)、第 4 週 (2.50 人) でした。

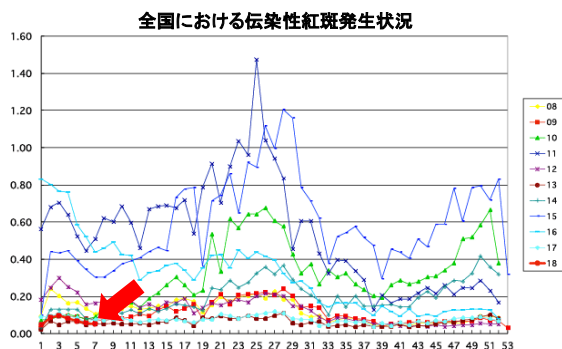


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	3	H29.9.5	陰性	—
中原区	女	3	H29.9.5	パルボウイルス	B19 型

### 【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり低いレベルで推移しました。



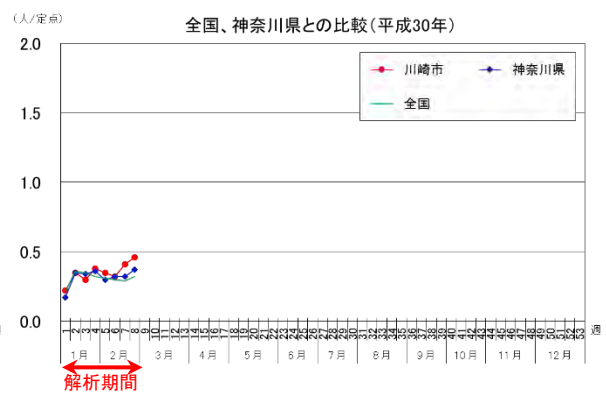
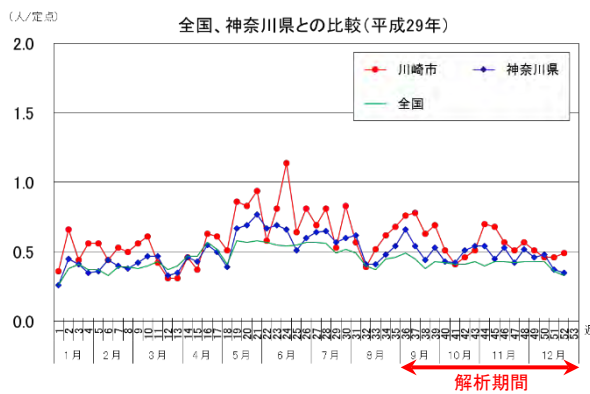
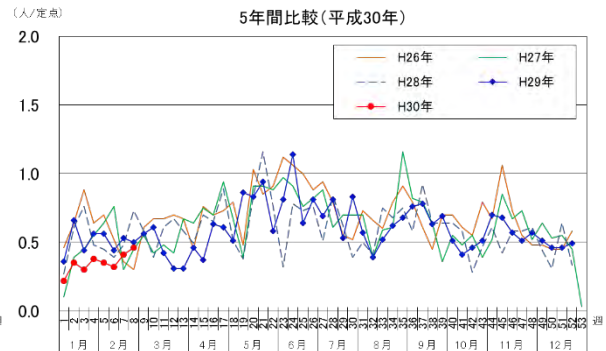
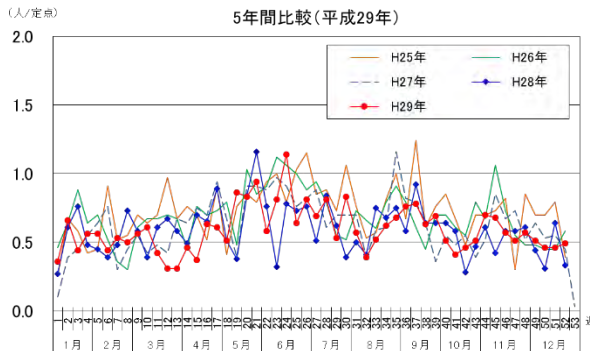


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.50 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.83 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 1 歳以下が 85.43% を占めていました。

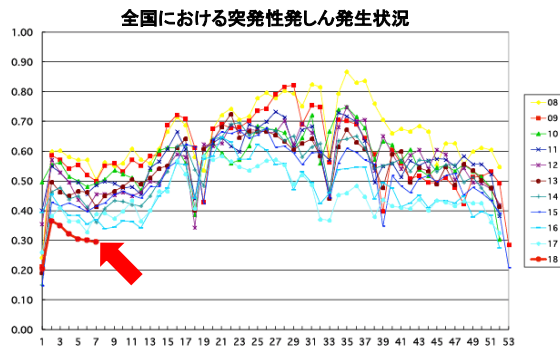


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	男	1	H29.9.5	サイトメガロウイルス	-
多摩区	女	11 か月	H29.11.9	ヒトヘルペスウイルス	6 型
中原区	女	1	H29.11.28	ヒトヘルペスウイルス	6 型
多摩区	女	7 か月	H30.2.23	ヒトヘルペスウイルス	6 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

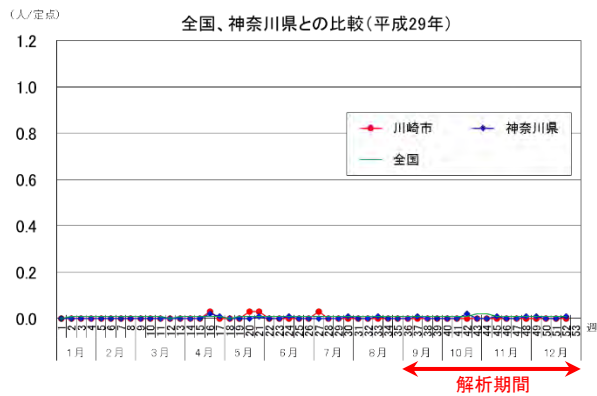
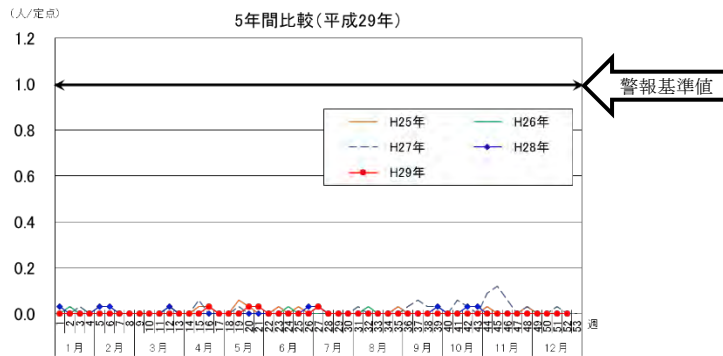


# 百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

## 【川崎市】

今期(平成29年9月~12月)は報告がありませんでした。

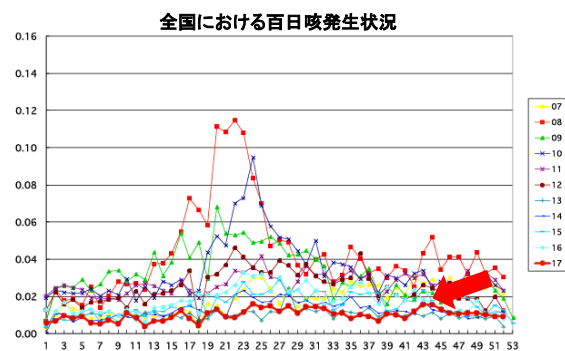
また、百日咳は平成30年1月1日から全数把握疾患に変更となりました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

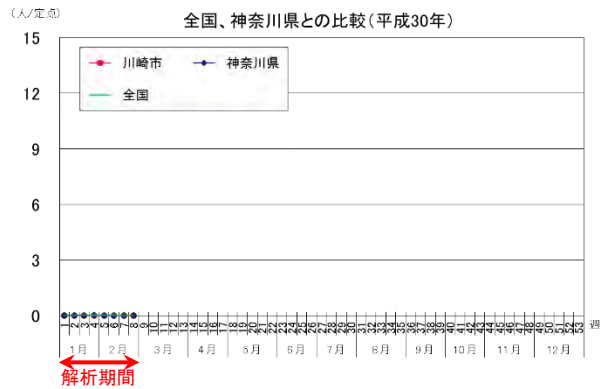
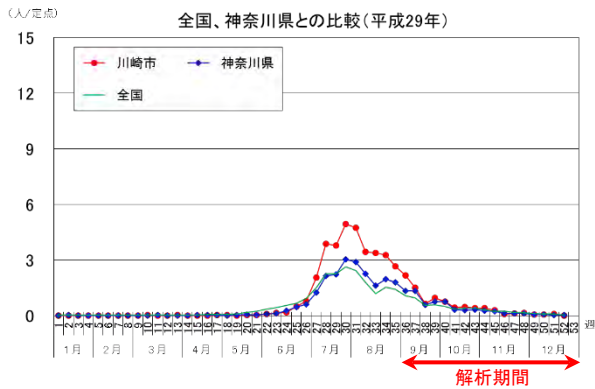
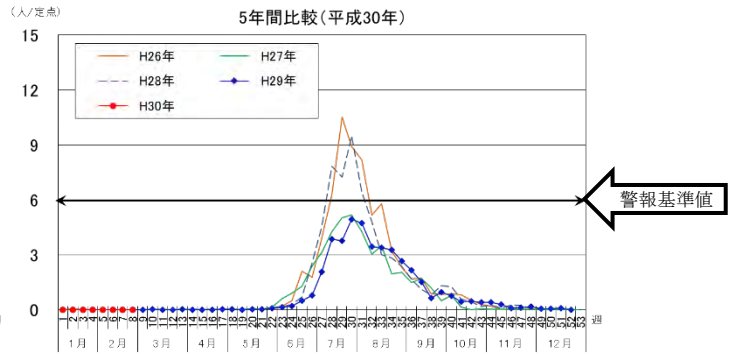
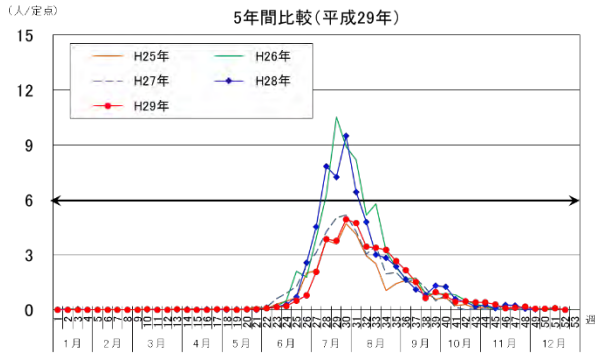


# ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.34 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.28 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に 9 月上旬は例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (6) を超えた週はありませんでした。

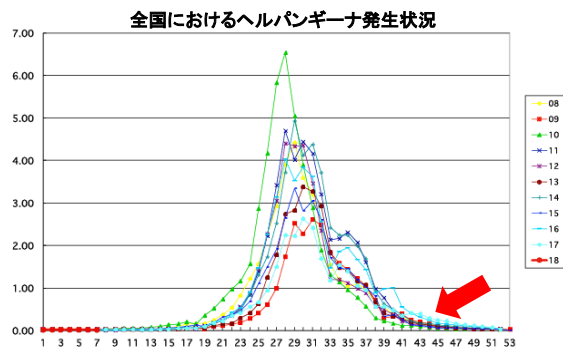


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	男	3	H29.9.5	コクサッキーウイルス	A10 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

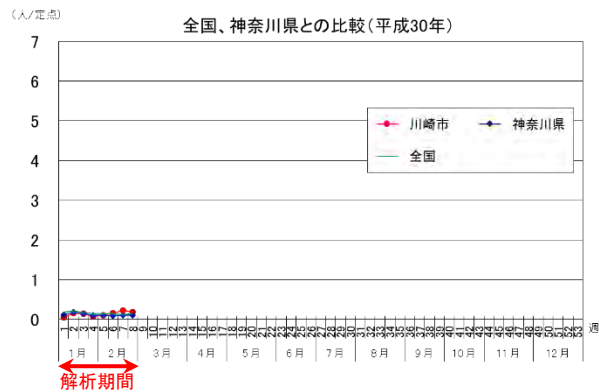
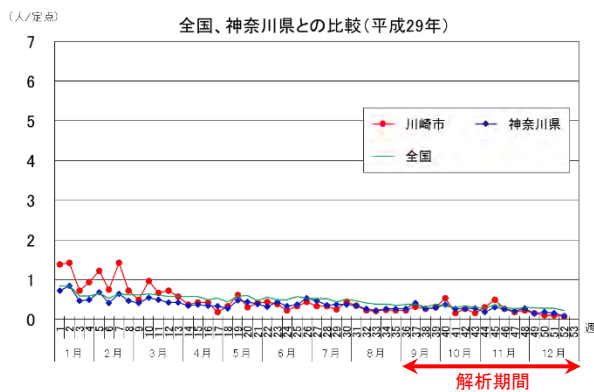
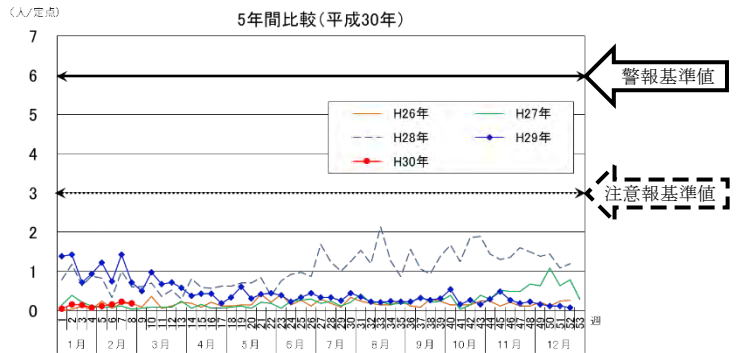
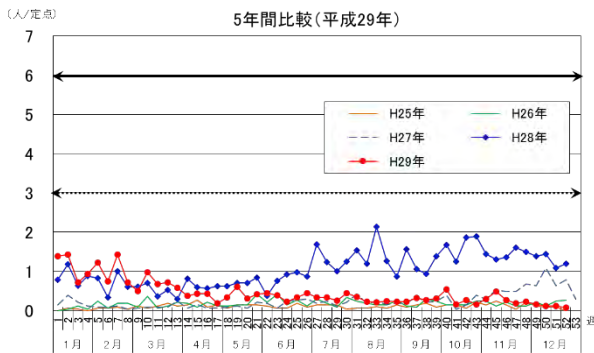


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.21 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.46 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (3) を超えた週はありませんでした。

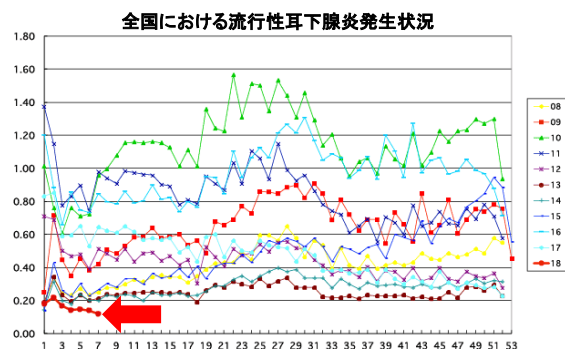


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	6	H29.11.10	ムンプスウイルス	Gw 型
				エコーウイルス	3 型

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



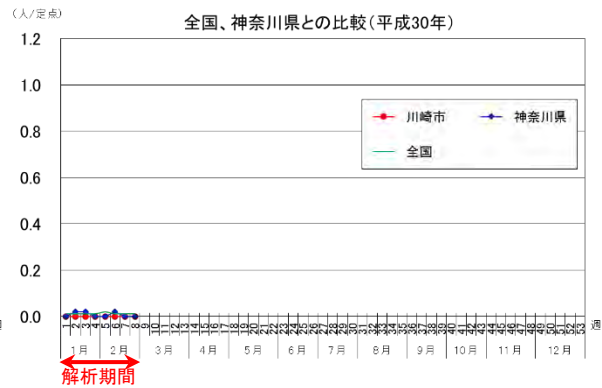
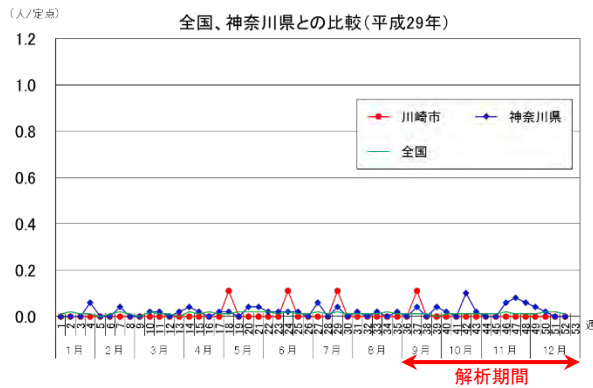
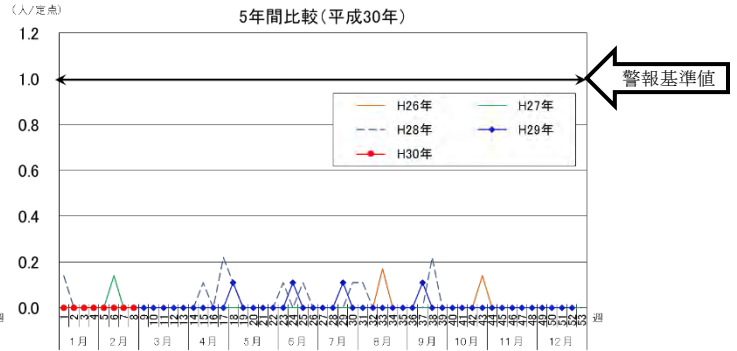
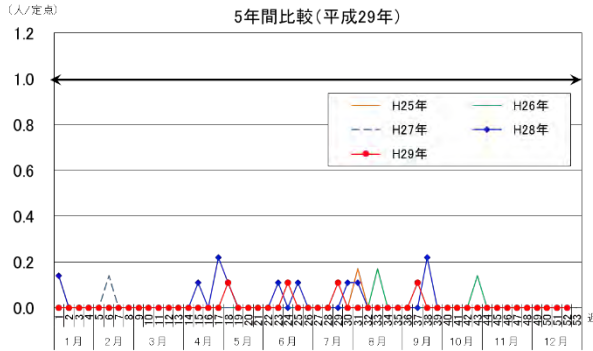
## <眼科定点対象疾患>

### 急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

#### 【川崎市】

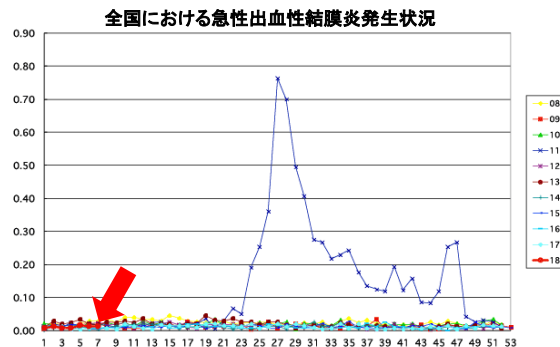
今期は定点当たり 0.004 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.61 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (1) を超えた週はありませんでした。



#### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

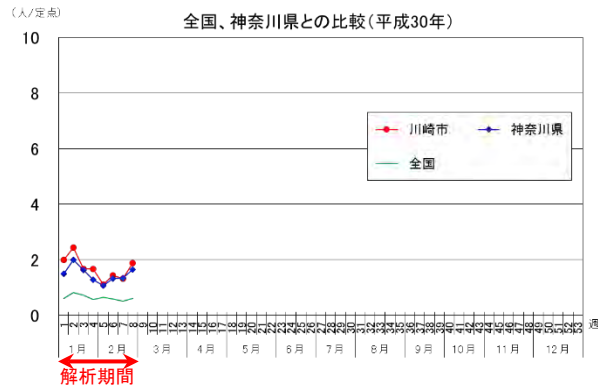
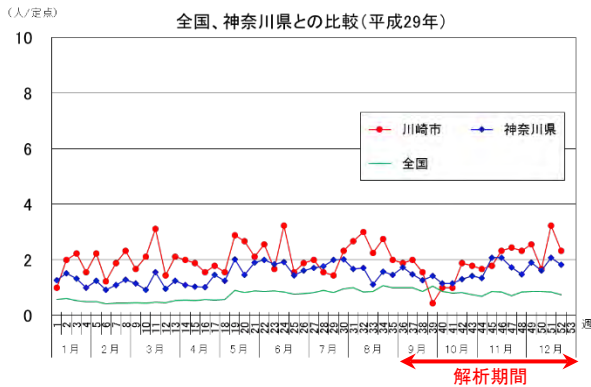
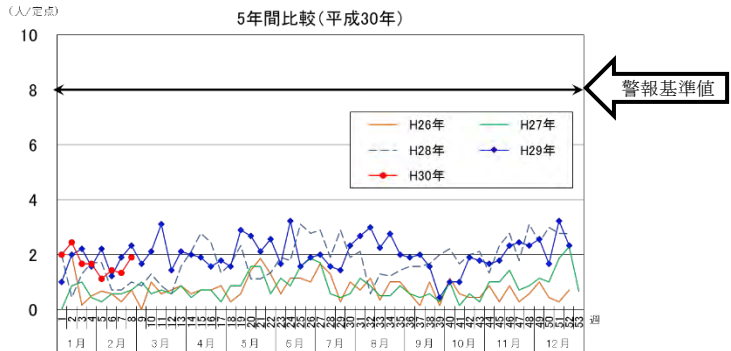
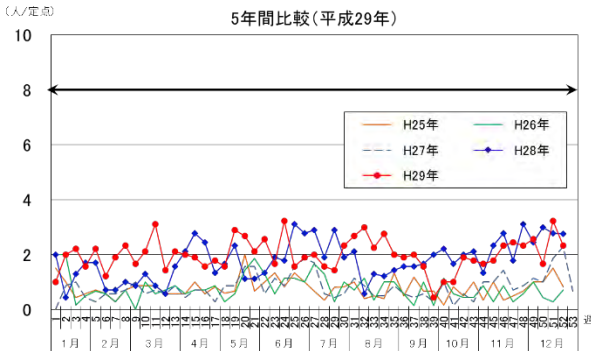


# 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.82 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.71 倍で、例年より高いレベルで推移しました。第 51 週には定点当たり 3.22 人となり、第 24 週に引き続き過去 10 年間と比較して最多の報告数となりました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、多摩区で第 51 週 (9.00 人) でした。

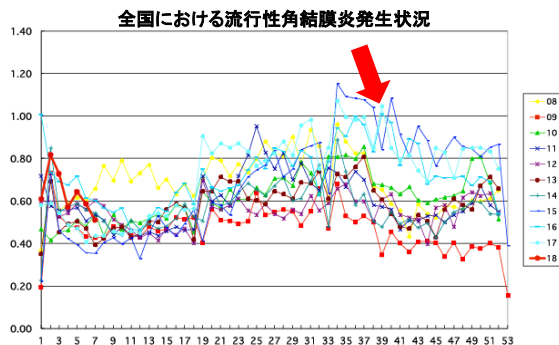


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
川崎区	男	28	H29.9.25	アデノウイルス	54 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり高いレベルで推移しました。

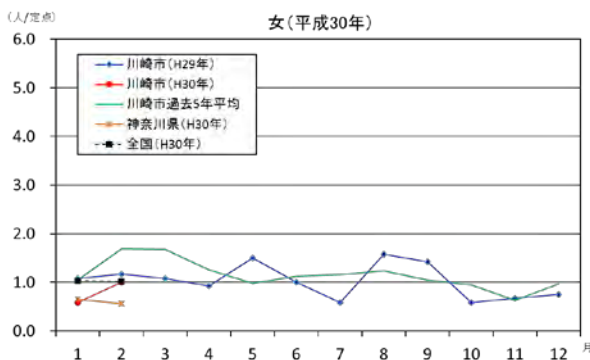
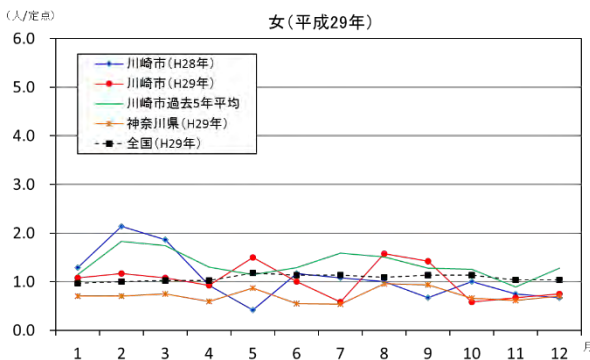
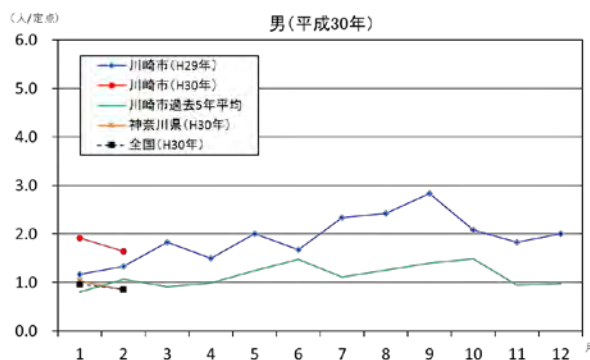
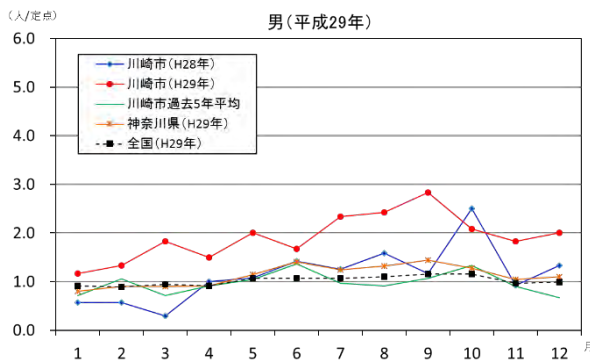
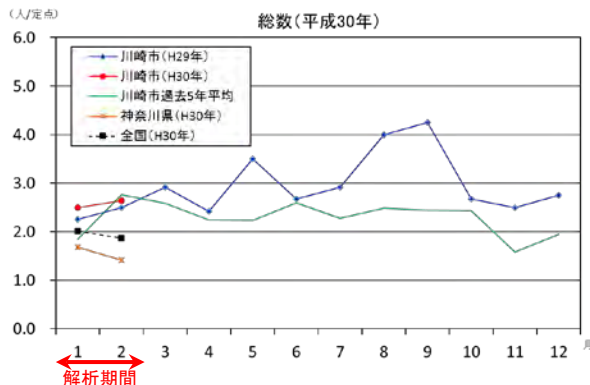
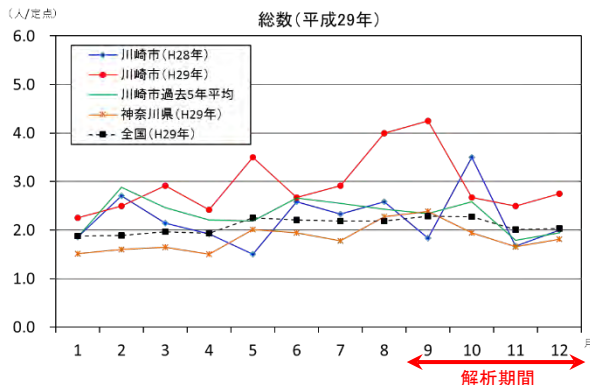


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

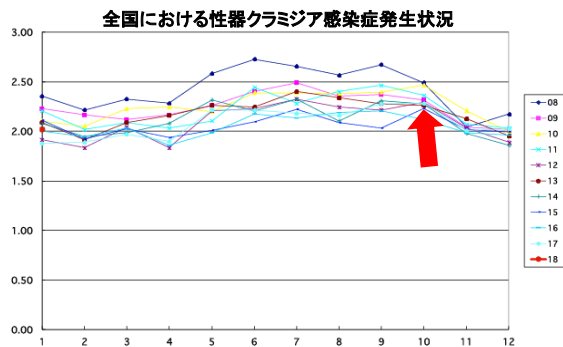
### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.89 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.31 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に男性は年当初から例年よりかなり高いレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

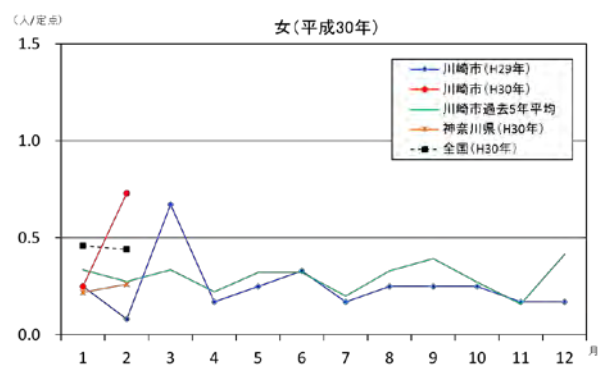
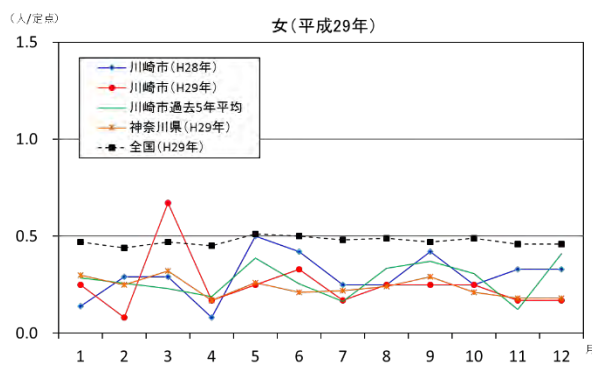
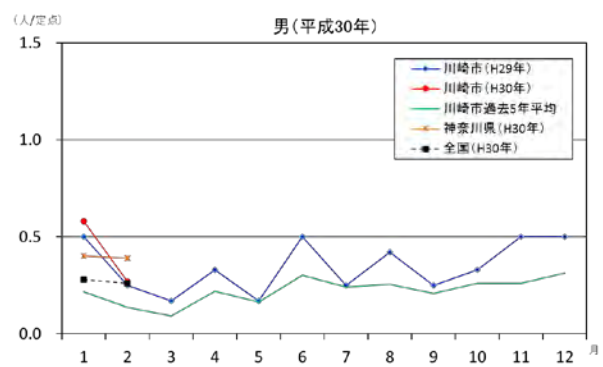
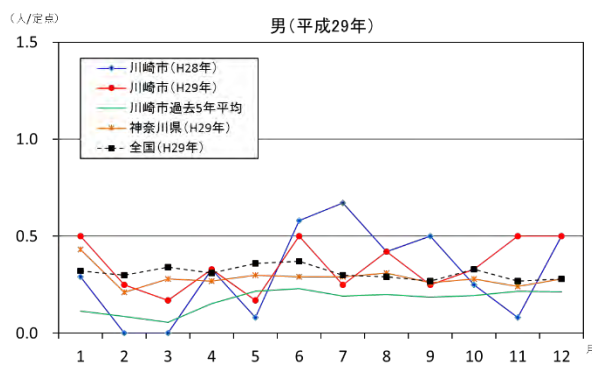
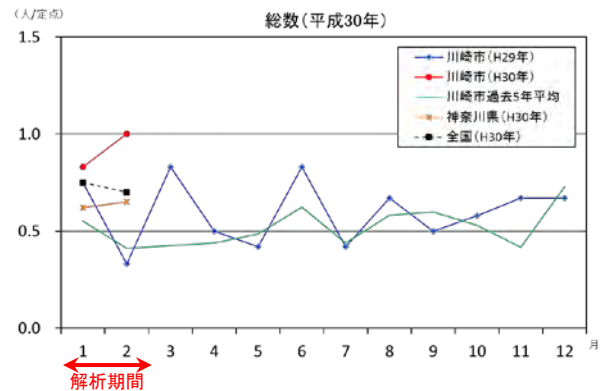
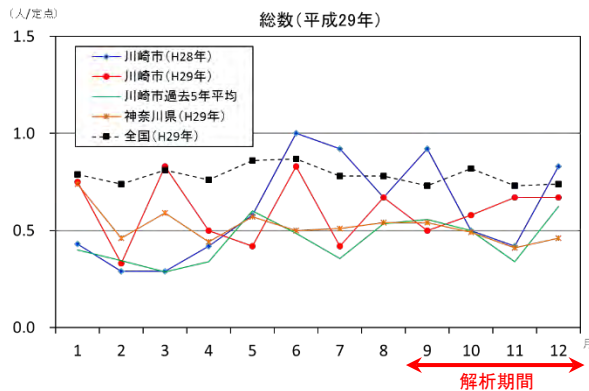
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

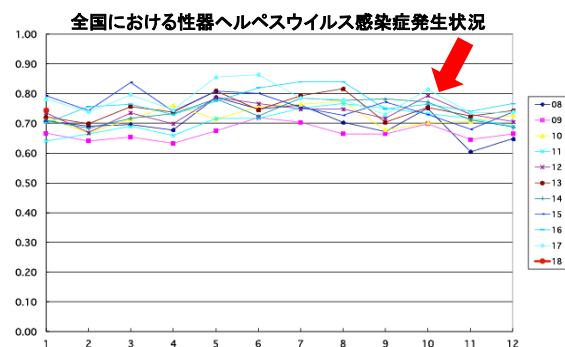
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.70 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.41 倍で、例年より高いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

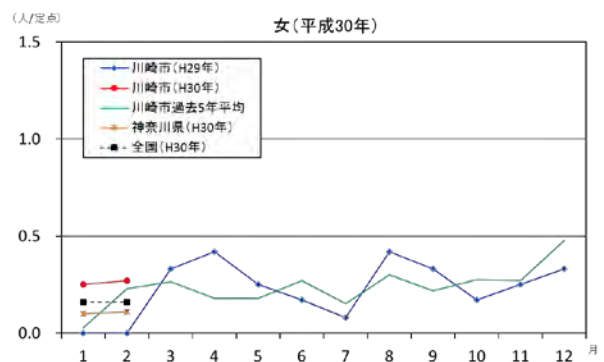
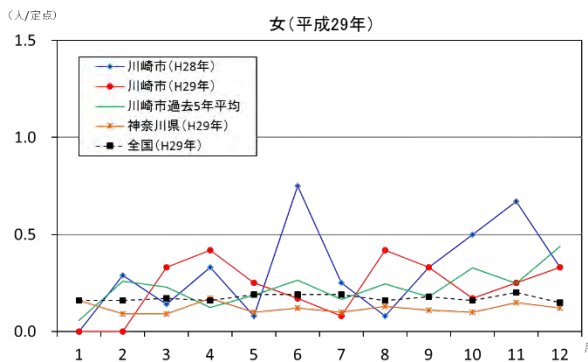
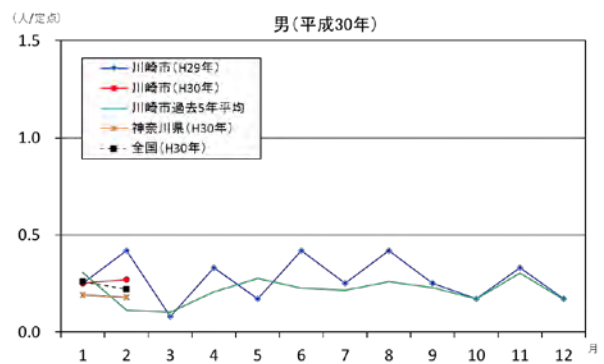
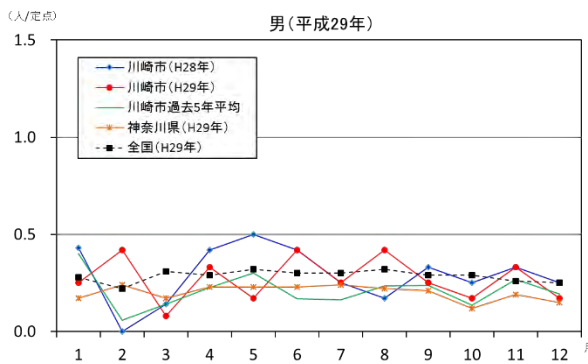
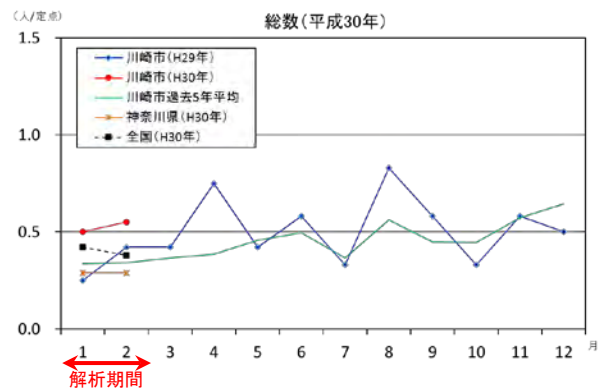
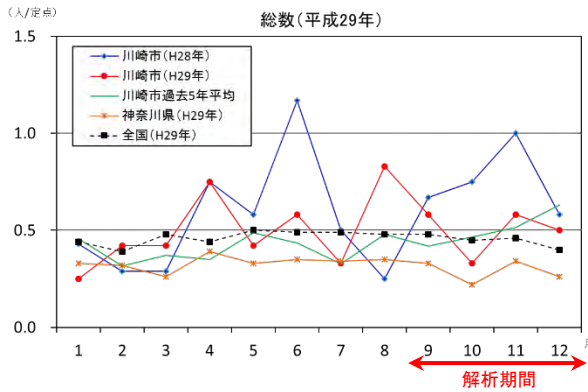




# 尖圭コンジローマ

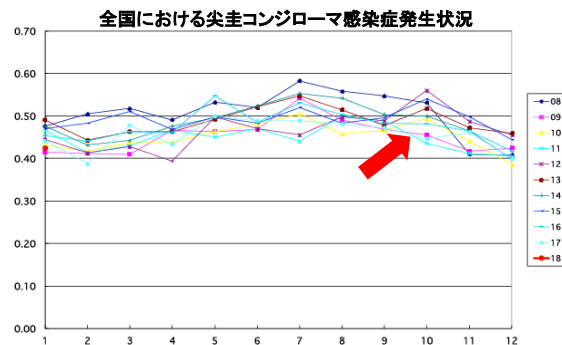
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.51 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.13 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

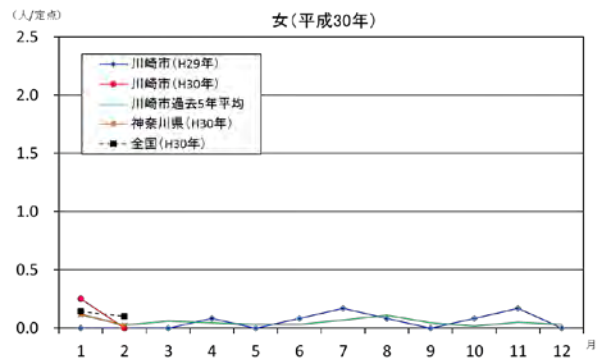
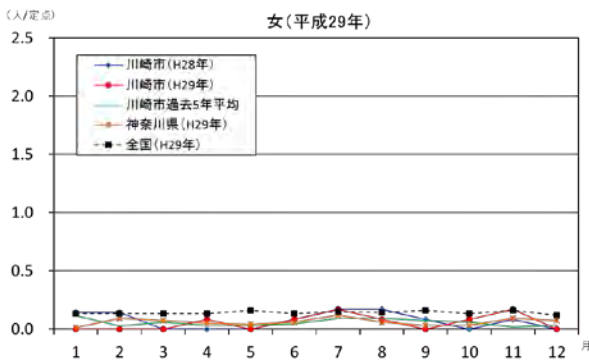
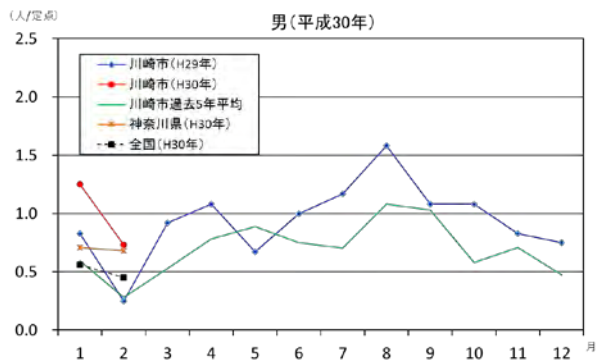
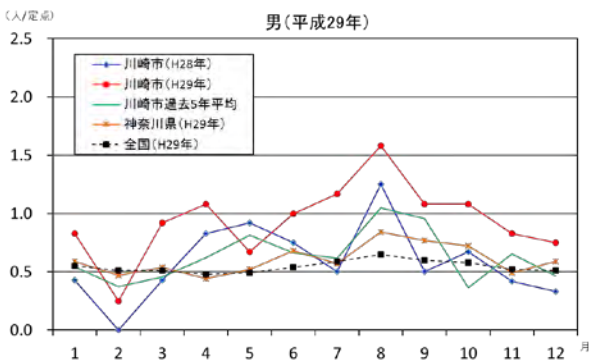
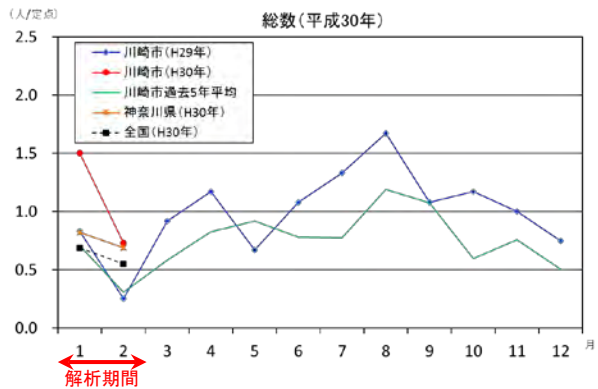
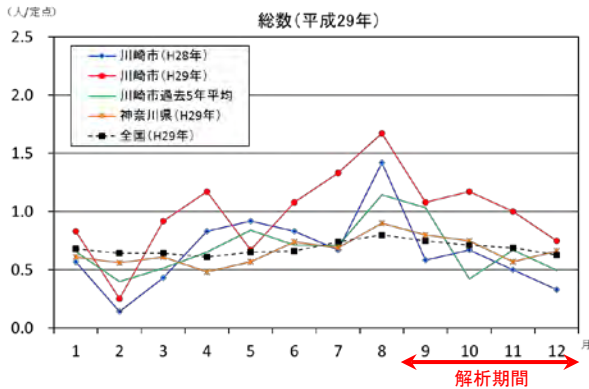
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# 淋菌感染症

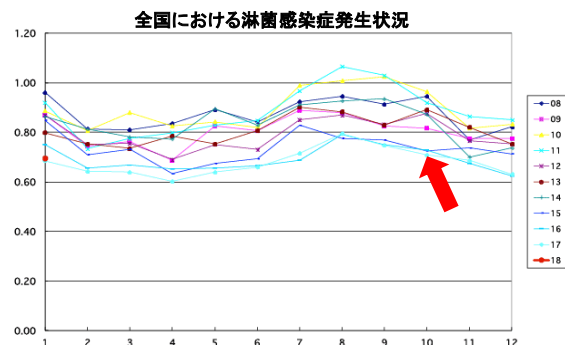
## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.72 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に男性の報告数が多く、全体の 91.9%を占めていました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

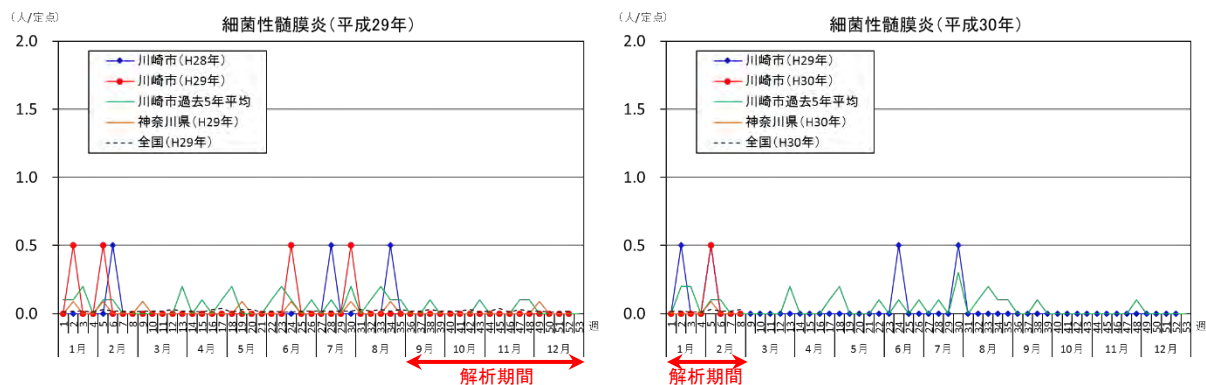


## <基幹定点対象疾患（週報）>

### 細菌性髄膜炎

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.50 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

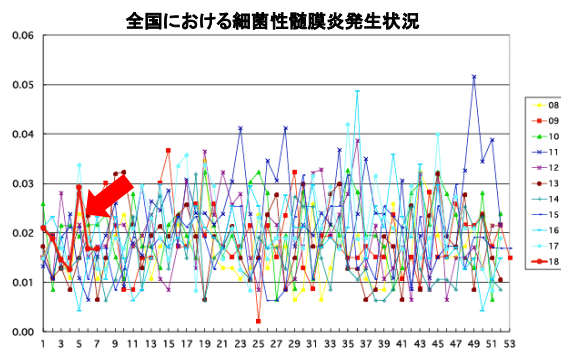


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査結果	検査部位
川崎区	男	88	第 5 週	<i>Corynebacterium</i>	髄液

#### 【全国及びその他】

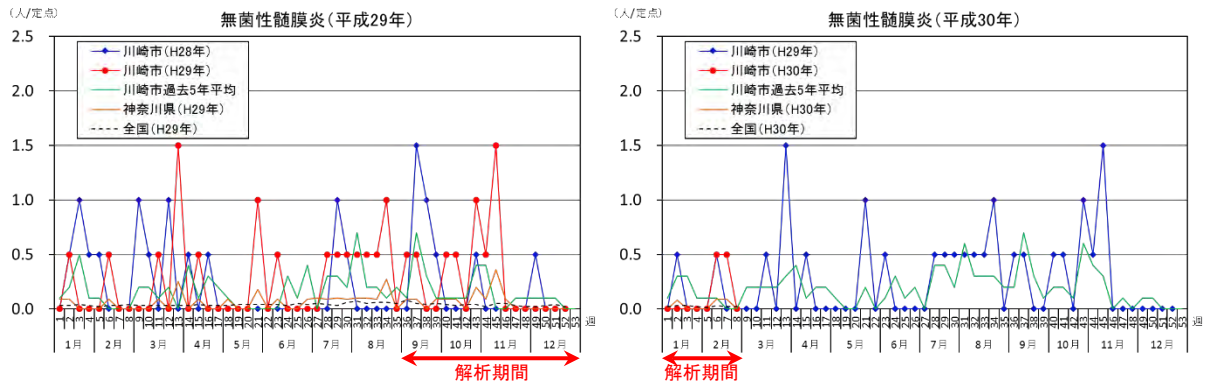
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.24 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.60 倍で、例年より高いレベルで推移しました。

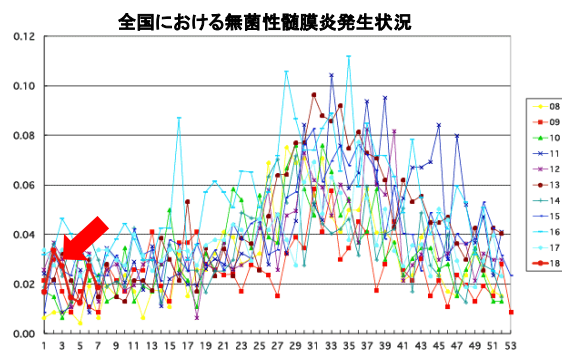


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)	検査部位
川崎区	女	11	H29.9.7	コクサッキーウイルス	A9 型	髄液
川崎区	女	2 か月	H29.9.14	コクサッキーウイルス	A9 型	髄液
宮前区	男	0 か月	H29.10.3	コクサッキーウイルス	B2 型	髄液
				コクサッキーウイルス	B2 型	咽頭ぬぐい液
				コクサッキーウイルス	B2 型	血清
				コクサッキーウイルス	B2 型	ふん便
川崎区	女	1 か月	H29.10.10	エンテロウイルス	71 型	髄液
宮前区	女	54	H29.10.11	ヒトヘルペスウイルス	2 型	髄液
				水痘帯状疱疹ウイルス	-	髄液
川崎区	女	4	H29.10.24	陰性	-	髄液
宮前区	男	0 か月	H29.10.27	コクサッキーウイルス	A9 型	髄液
				コクサッキーウイルス	A9 型	咽頭ぬぐい液
				コクサッキーウイルス	A9 型	血清
				コクサッキーウイルス	A9 型	ふん便
宮前区	男	0 か月	H29.11.1	水痘帯状疱疹ウイルス	-	髄液
				コクサッキーウイルス	A9 型	咽頭ぬぐい液
				水痘帯状疱疹ウイルス	-	血清
				コクサッキーウイルス	A9 型	ふん便
				ヒトヘルペスウイルス	7 型	ふん便
川崎区	女	1	H29.11.10	コクサッキーウイルス	A9 型	咽頭ぬぐい液
				陰性	-	髄液
				陰性	-	ふん便
川崎区	男	33	H29.11.13	陰性	-	髄液
川崎区	女	1 か月	H30.2.7	陰性	-	髄液

## 【全国及びその他】

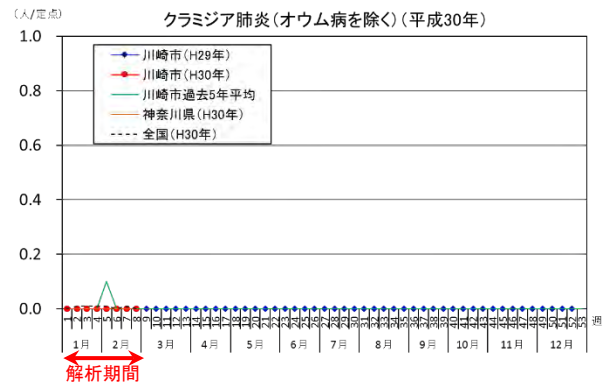
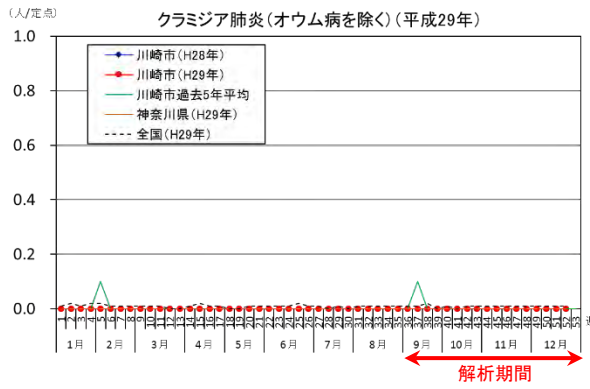
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# クラミジア肺炎(オウム病を除く)

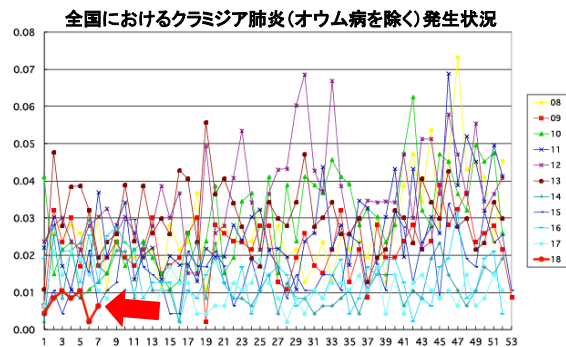
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

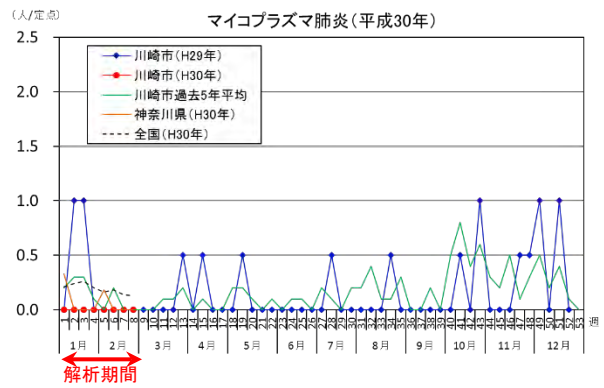
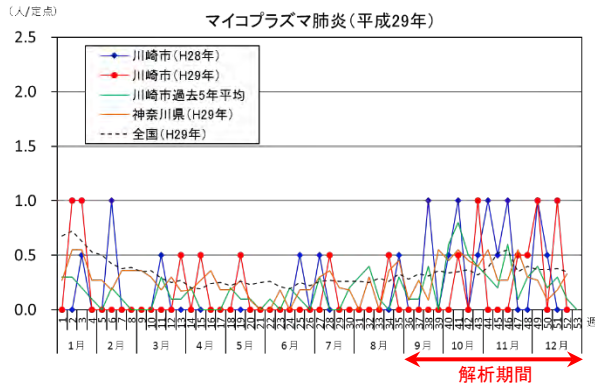
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

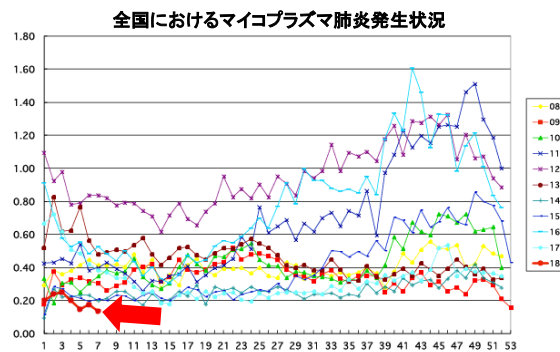
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.18 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.70 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

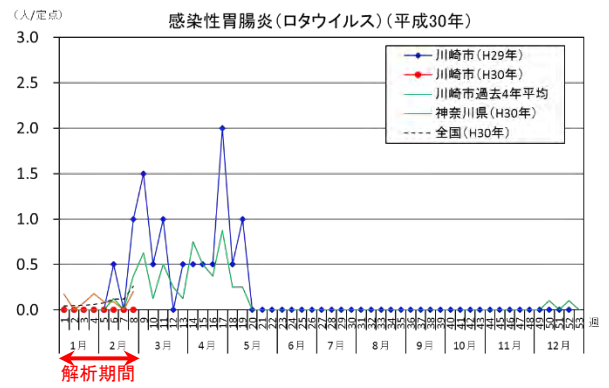
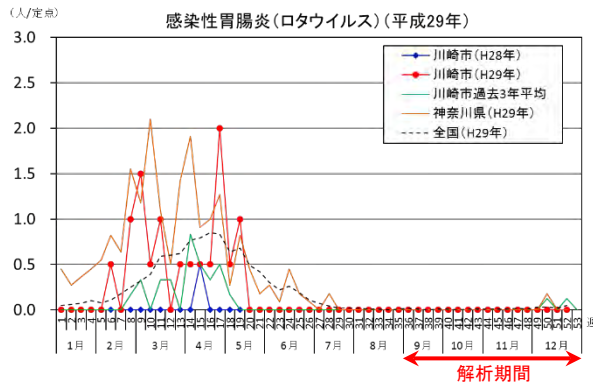
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

## 【川崎市】

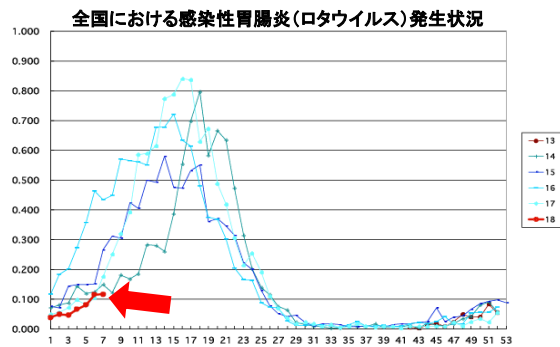
今期は報告がありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提出はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。



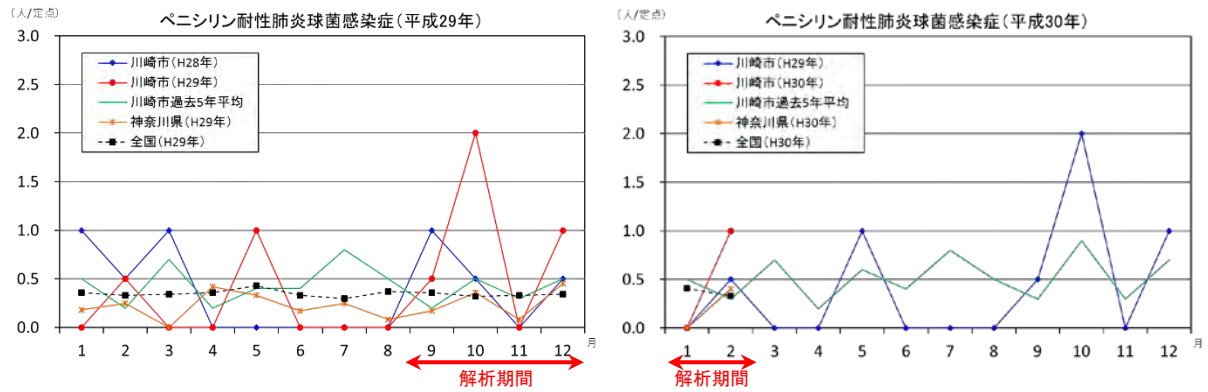




# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

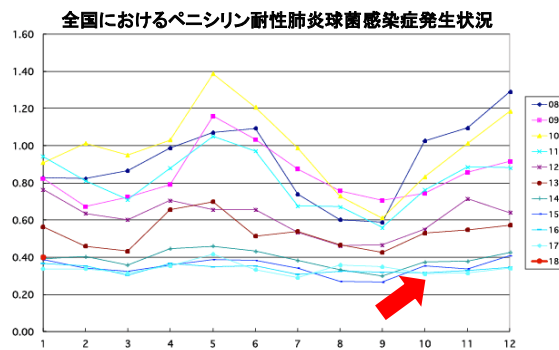
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.95 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。10 月は 4 件の報告があり、過去 5 年間で比較して最大の報告数となりました。



## 【全国及びその他】

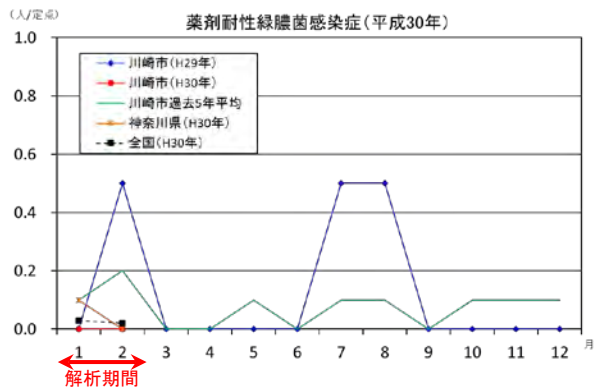
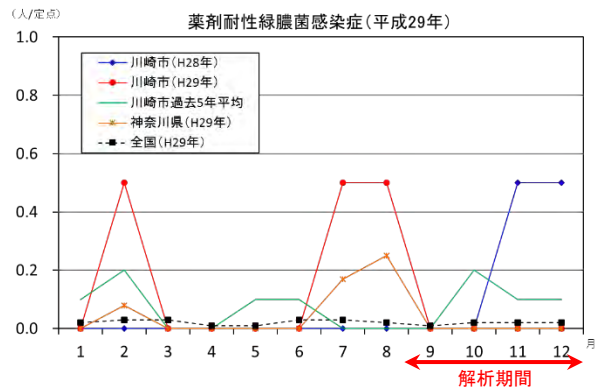
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# 薬剤耐性緑膿菌感染症

## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

